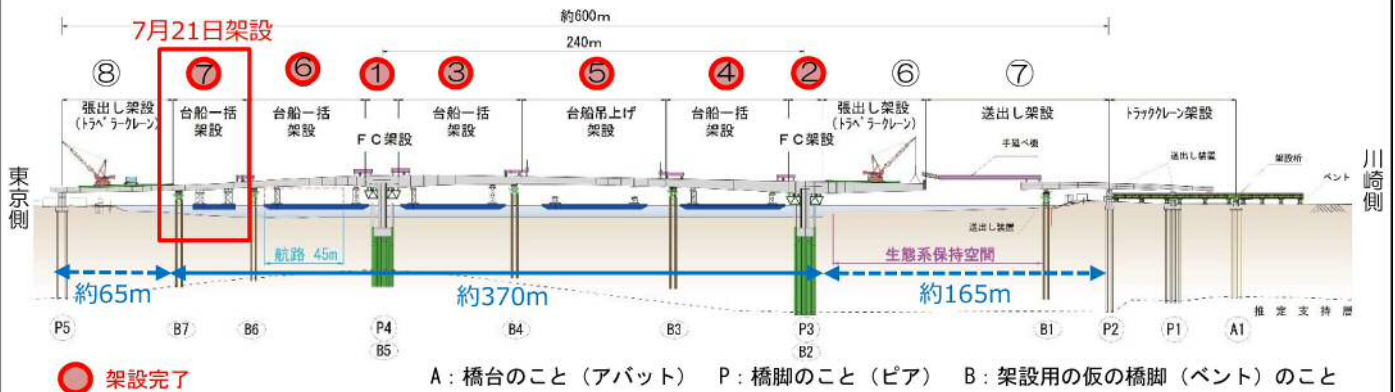


台船架設が完了

約600mの橋桁のうち約370mが架かりました！



7月21日に東京側⑦の台船一括架設が無事に完了し、5か所すべての台船架設が完了しました。これにより、多摩川を渡る約600mの橋桁のうち、約370mが架設されたこととなります。昨年9月30日に③の台船一括架設を行った後、「令和元年東日本台風」により河川内に大量の土砂が堆積したため、橋桁の架設を中断せざるを得ない状況でしたが、4月11日に再開し、4か月間で4か所（④・⑤・東京側⑥・東京側⑦）の台船架設を行いました。ようやく橋の形が見えてきましたが、今後は、川崎側⑥、⑧の張出し架設および川崎側⑦の送出し架設を進めていきます。



第5回台船架設（東京側⑦ブロック R2.7.21）（ライフインノベーションセンターより）



第1回台船架設（③ブロック R1.9.30）



第2回台船架設（④ブロック R2.4.11）



第3回台船架設（⑤ブロック R2.5.6）



第4回台船架設（東京側⑥ブロック R2.6.10）

【土木豆知識⑩】警戒船

多摩川の工事区域に赤い旗を掲げた船舶がいるのを見かけた方もいると思いますが、この船舶を警戒船と言います。

警戒船とは、工事水域付近において、航路制限情報を航行船舶へ提供したり、異常接近する船舶への注意喚起、船舶交通の整理及び危険防止等を行う船舶の呼び名です。陸上工事でいうとガードマンの様な存在です。

多摩川を利用する船舶としては、漁船、釣り船、小型船舶訓練船があり、その他に当該現場を通過する上流の工事用船舶が航行しています。それらの船舶に対して作業中は注意喚起を行い、工事区域内における航行安全に努めています。



警戒船

現場での対策に全力

新型コロナウイルス・熱中症対策も！

新型コロナウイルスの収束が見えない状況ですが、工事現場では早期供用に向けて、様々な感染予防対策を講じながら工事を進めています。また、夏本番に向けて、コロナ対策とともに熱中症対策にも取り組み、安心して安全に作業できる環境づくりに取り組んでいます。今回はその取組について紹介します。



【コロナ対策】

朝はソーシャルディスタンスを確保するため、各人が2m程度離れて体操や朝礼を行っています。



【コロナ対策】

各洗い場や休憩室に消毒液を設置し、手洗いやうがいと共に、消毒の徹底を行っています。



【熱中症対策】

休憩室の前にあずま屋を設置し、ミストシャワーで涼み場所を確保しています。

羽田側 階段工事が完了

ソラムナード羽田緑地が開放されました！

令和元年7月から開始した羽田側の階段工事が完了し、ソラムナード羽田緑地および環状八号線の歩道・自転車道を開放しました。長い間通行ができず、ご迷惑をおかけいたしました。工事へのご理解とご協力、ありがとうございました。

今後は橋梁の橋桁架設を予定しています。さらに、ご迷惑をおかけしてしまいますが、引き続きご理解とご協力の程、よろしくお願いたします。



階段工全景



階段部近景

羽田イノベーションシティが開業

7月3日に開業しました！

大田区と羽田みらい開発株式会社の公民連携により進められている、「羽田イノベーションシティ」が、令和2年7月3日に開業しました。

「羽田イノベーションシティ」は、世界と地域をつなぐゲートウェイとして新たなビジネスやイノベーションの創造や、国内外に日本のものづくり技術や日本各地の魅力を発信するまちです。

なお、「羽田イノベーションシティ」内の施設及び店舗については、新型コロナウイルス感染症への対策を講じた上で、順次オープンしていきます。



大田区提供



大田区提供

<所在地> 東京都大田区羽田空港一丁目1番4号

<交通> 「天空橋駅」直結

【多摩川河口干潟の生き物⑩(コアシサシ)】

コアシサシは、カモメ科の小型の渡鳥で、4月頃繁殖のために日本に飛来します。河川の砂礫地や海岸でコロニーをつくって集団繁殖し、餌は、浅瀬の小魚や小型のイカやエビなどを捕食します。屋上に貝殻や石を撒いて営巣場所を造成する保全活動等も行われています。

多摩川では、5月の調査時に沢山のコアシサシを見ることができます。空中でホバリング(空中で同じ位置に留まるように羽ばたくこと)を行い、小魚などを見つけると勢よく、そして迷うことなく水中へ急降下し、捕食します。初めてこの行動を間近で見た時は、干潟の底に頭をぶつけないかヒヤヒヤしました。人がいても構わず近距離で捕食シーンを見せてくれます。ぜひ、コアシサシの垂直落下捕食シーンを観察してみたいかでしょうか。



コアシサシが餌をとる瞬間

見事に魚をキャッチ！

お問合せ先



川崎市建設緑政局広域道路整備室
羽田連絡道路建設担当

住所：〒210-0821

川崎市川崎区殿町3丁目25-25

電話：044(200)0436

FAX：044(288)1782

<http://www.city.kawasaki.jp/530/page/0000097966.html>



五洋・日立造船・不動テトラ・横河・
本間・高田共同企業体(五洋JV)

住所：〒210-0821

川崎市川崎区殿町3丁目25-24

電話：044(201)9381

FAX：044(201)9382

<http://www.poc-site.jp/kb/tonomachi/>